



はじめに

五所川原市は、津軽平野のほぼ中心に位置し、水と緑があふれる豊かな自然と交通の結節点としての恩恵を受けながら、津軽西北五の中心都市として発展して参りました。

しかしながら、都市を取り巻く環境は、人口の減少、超高齢化社会の到来、産業構造の転換等、様々な面で大きく変化してきており、拡大成長期から成熟期へと移行していく中、都市空間の再編が重要な課題となっております。

このような時代の転換期において、20年後の将来にわたって持続的な発展を続け、多くの市民が安全で安心して暮らせる都市づくりを行うための指針として、この五所川原市都市計画マスタープランを策定いたしました。

現在建設中の「つがる総合病院」及び「新消防庁舎」、今後建設予定の「新本庁舎」は、いずれも市街地内に建設することとしておりますが、これはまちの魅力や活力の向上を図るとともに、都市機能を集約し、行政コストの低減が図られるコンパクトなまちづくりを推し進めるものとして計画しております。

また、本計画では『活力ある・明るく住みよい豊かなまち』をまちづくりの将来像に掲げており、その実現に当たっては、市民がまちづくりの主体であるという認識に立ち、市民・事業者等・行政が『まち』の将来像を共有し、多様な問題に協働で取り組むことが必要であると考えますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

今後は、本基本方針に基づき、各種計画や事業を着実に推進するためのプログラムを策定し、まちづくりの将来像実現のための取り組みを実施して参ります。

おわりに、都市計画マスタープラン策定に当たりましては、アンケートにご協力いただきました市民の皆様、ワークショップで熱い思いを語っていただきました皆様、また熱心にご審議いただきました都市計画審議会委員の皆様にご心から感謝申し上げます。



平成25年3月

五所川原市長 平山 誠 敏